

大阪・関西万博に関する関係者会合

1. 日 時：2025年9月16日（火）10：15～10：35

2. 場 所：官邸4階大会議室

3. 議事次第：

- （1）大阪・関西万博についての報告
- （2）出席者からの発言

4. 資料

資料1：大阪・関西万博の開催状況

5. 出席者

【政府】

石破 茂	内閣総理大臣
林 芳正	内閣官房長官
伊東 良孝	国際博覧会担当大臣
武藤 容治	経済産業大臣
中野 洋昌	国土交通大臣
英利 アルフィヤ	外務大臣政務官
橘 慶一郎	内閣官房副長官
青木 一彦	内閣官房副長官
佐藤 文俊	内閣官房副長官

【地元自治体】

吉村 洋文	大阪府知事
横山 英幸	大阪市長

【経済界】

十倉 雅和	日本経済団体連合会・名誉会長
	2025年日本国際博覧会協会・会長（代表理事）
松本 正義	関西経済連合会・会長

【2025年日本国際博覧会協会】

石毛 博行	事務総長（代表理事）
-------	------------

○伊東国際博覧会担当大臣 時間になりましたので、大阪・関西万博に関する関係者会合を開催いたします。

ちょうどあと一月を切ったところであります。会場内、昨日も行ってきましたけれども、大変な混雑で、ものすごい人気で、嬉しくなったところであります。

司会は、国際博覧会担当大臣である私が務めさせていただきます。

本日は、大阪・関西万博のこれまでの運営状況や、閉幕に向けた取組について関係者間で共有するためお集まりいただきました。

まず事務方からこれまでの運営状況や今後の取組について御説明した後、皆様からそれぞれ御発言いただきたいと思っております。

それでははじめに、経済産業省 茂木首席国際博覧会統括調整官よりお願いいたします。

○茂木首席国際博覧会統括調整官 資料1に基づき御説明させていただきます。1ページおめくりいただきまして最初のページでございます。

4月13日に開幕して以来9月13日で154日目ですが、この時点で、入場者数が2,178万人。9月に入りまして入場者は大きく増加をしておるところでございます。チケットの販売枚数も2,143万枚ということで、売り上げは運営費の収支が見合うと想定しています969億円を超過している状況でございます。

2ページをご覧ください。

天皇皇后両陛下、それから博覧会名誉総裁を務めていただいております秋篠宮皇嗣殿下、同妃殿下が開会式に御臨席を賜りましたこと、加えまして、多くの皇族の方に御臨席を賜ったことでございます。

10月6日には天皇皇后両陛下の行幸啓が予定されておるところでございます。

3ページをご覧ください。

来場者からの評価も大変好評でございまして、海外のパビリオン、国内のパビリオン、様々なイベントに多くの方がご参加をいただいております。

来場者の約8割の方が、今回の万博、総合的に満足したとのお声をいただいております。

4ページをご覧ください。

万博は外交の場であります。公式参加者をはじめとしまして、ナショナルデー・スペシャルデーが設けられております。これまで各国から王族・首脳級・閣僚等が計120か国、300名以上御来訪されておるところです。

また、東京においても、総理が万博に際し来日した要人と40件以上の会談・表敬等を実施しておるところでございます。

次のページをご覧ください。

万博を通じたビジネスの機会も活発に展開をされておるところでございます。各参加国がそれぞれのパビリオン等でビジネスセミナー等をたくさん実施しております。ビジネスミッション団を派遣して、会場内外でのセミナーや交流会を開催されておるところでございます。

日本国内でも様々なイベントが行われております。明日明後日、Global Startup EXPO 2025ということで、世界中からスタートアップの関係者が参加した会議も、万博の会場内で実施いたします。

6ページをご覧ください。

万博を通じて地方創生の取組も進んでおるところでございます。これまで42府県7政令市が各地の特色ある食や伝統産業、文化、自然環境等の魅力を発信するイベントを開催しております。

国際交流イベントも活発になっております。これまで95自治体、76か国による154件の交流事業が実施されておまして、当面こうした取組が発展していくことを期待しておるところでございます。

次のページをご覧ください。

7月3日には日本のナショナルデーでありますジャパンデーが開催されたところでございます。秋篠宮皇嗣殿下の御臨席のもとで、公式式典・公式催事が行われました。それから、会場内では日本文化を発信する様々なイベントが実施されたところでございます。

次のページをご覧ください。

この万博では、「いのち」「未来」等についても様々な議論が行われております。

「未来のコミュニティ」「学びと遊び」「平和と人権」といったテーマ性をもった取組が行われており、内外から有識者を集めてセッション、対話、交流、展示等が行われてまいりました。

次のページをご覧ください。

会期中様々な運営上の課題もございました。入退場の運営改善、これは日々行ってきております。時間当たりの入場者数は開幕当初に比べて3割くらい増えてきているということですので、現場の対応も非常に円滑になってきているということもございます。退場の分散化や動線の確保等によって円滑な入退場の運営を行ってきております。パビリオンの予約方法の改善もしてまいりましたし、暑熱対策等も徹底してまいりました。途中、レジオネラ菌の発生やシオユスリカの発生といった課題もございましたが、こうした課題に一つ一つ対応して解決してまいりました。8月13日にはメトロが一時運休をいたしまして、会場内で最終的に1万人以上の方が一夜を明かすということがございましたが、博覧会協会の方で情報発信の徹底や緊急時のパビリオンとの連携、こうした体制整備を改めて拡充しているところもございます。

最後、残り1ヶ月における課題と対応ということですが、既に、閉幕までの予約状況を見ますと、9月はほぼ満員の状況でございます。10月の平日の午後や夜間はまだ予約枠に空きがございます。

今後、一部予約枠を開放する分もございますが、大幅に予約の枠を増やすことはできない状況です。従いまして今現場では、混雑の中でも楽しんでいただけるように、少しでも開場時間を早めるといった取組をしたり、夜の花火の時間とイベントの時間を調整することで退場時間を分散させるなど、多くの方にお越しいただいても安心して楽しめる環境の確保に努めていただいているところでございます。

来場者に向けまして、いま新聞広告や協会のSNS等におきまして、早期の来場予約のお願いをしておるところでございます。残りの予約枠も非常に少なくなっているところございますが、まだチケットをお持ちの方には早めにご予約をいただくべく、周知を行ってきているところであります。

以上で私からの報告を終わります。

○伊東国際博覧会担当大臣 ありがとうございます。それでは、出席者の皆様から御発言をお願いしたいと思いますが、恐縮ですがまずはじめに私からお話をさせていただきます。

閉幕まで1か月を切りましたが、来場者が2,000万人を突破するなど、連日、非常に大きな賑わいを見せております。ここに至るまで、ご尽力いただいている関係者の皆様に厚く御礼を申し上げます。

今回の万博に合わせて、各国から大勢の要人が訪日され、各国との親善を深める機会となっております。関係省庁の政務の方々にもそれぞれナショナルデーに参加いただいたり、交流を深めていただいております。私もこれまで16か国のナショナルデーに出席させていただいたところであります。

また、万博をきっかけに、全国の95の自治体が76か国との間で国際交流を進める「万博国際交流プログラム」の取組も行われております。

さらに、政府全体としても、万博を「未来社会の実験場」として活用し、関係省庁の様々な施策の実証・実装につなげていく、アクションプランの取組も進めております。

これらの取組を通じて得られる成果を、一過性のものとせず、将来の経済成長や地方創生など万博のレガシーとして残していきたいと思う次第でございます。

それでは、武藤経済産業大臣、お願いいたします。

○武藤経済産業大臣 私からは2点申し上げます。

1点目ですが、開幕から156日間、万博の運営には様々な課題がありましたけれども、現場で迅速に改善を重ねていただいた結果、多くの来場者にご満足をいただいております。博覧会協会をはじめとした関係者の皆さま、本当にここまでご苦労様でした。感謝を申し上げたいと思います。

閉幕まで残り1か月、引き続き来場者の安全を第一に、運営に当たっていただくようお願いをいたします。

2点目は、レガシーについてです。

大阪・関西万博では、「未来社会の実験場」として、GX、DX、ヘルスケアをはじめ様々な分野の最先端技術が実証されました。

人類共通の課題についても、国内外の叡智を集めた議論が多数行われ、新たなビジネスの機会も生まれています。

ハード、ソフトを問わず、開催期間を通じた一連の活動を、レガシーとして次世代につなげていくことが重要と考えています。以上です。

○伊東国際博覧会担当大臣 ありがとうございます。続いて、中野国土交通大臣、お願いいたします。

○中野国土交通大臣 関西国際空港及び神戸空港における本年4月～7月の訪日外国人入国者数の合計は、前年同期比で約18%増加しました。

また、5月及び6月の宿泊旅行統計では、大阪府の客室稼働率が全国で最も高く、周辺の府県も軒並み前年同月の水準を上回りました。

大阪・関西万博を契機とした全国への誘客を促進するために、地域資源を活用した観光コンテンツの造成や、JNTOを通じたSNSでの発信等に取り組んできたところであります。

「万博+観光」として、開催地以外の都市にも多くの方に足を運んでいただいているものと認識しております。

引き続き、万博への海外からの来場者の拡大と、それを契機とした日本の様々な地域への誘客に取り組んで参ります。以上でございます。

○伊東国際博覧会担当大臣 ありがとうございます。続いて、英利外務大臣政務官、お願いいたします。

○英利外務大臣政務官 万博は閉幕まで残り1か月を切りました。万博開幕以降、これまでに、各国ナショナルデー等の機会に、50名以上の元首・首脳級、30か国近く（含む欧州連合）の外相が訪日しています。また、これら要人以外にも、閣僚級を含む多数の要人が万博会場を訪問しています。

こうした機会をとらえ、これまでに、石破総理は約44件、岩屋外務大臣は約35件の会談・表敬等を実施し、二国間関係や国際社会の諸課題について、各国との意思疎通や連携を一層強化してきました。

また、各国要人の中には、大阪以外の地方を訪問するケースもあり、外交の裾野の拡大や地方創生にもつながったと確信しております。

万博閉幕日まで、引き続き「万博外交」を有意義に進めてまいります所存です。

○伊東国際博覧会担当大臣 ありがとうございます。続いて、大阪府の吉村知事、お願いいたします。色々とお世話になりまして、ありがとうございます。

○吉村大阪府知事 石破総理をはじめ伊東大臣、武藤大臣、関係閣僚の皆様、本当にこの間、大阪・関西万博の成功に向けて御尽力、お力添えをいただき、本当にありがとうございます。地元を代表して御礼申し上げます。

いよいよ閉幕までカウントダウンとなりました。会場の内部は非常に多くの人で賑わっております。最後まで大阪府市、また関係者一丸となって安心・安全と、そして万博の成功に向けて取り組んでいきます。

そして、これだけ多くの方がこられている万博ですので、やはりレガシーが大切となります。158の国と地域の皆さんが「いのち輝く未来社会のデザイン」とは何だろうという共通の問を立てて、この間共有をしてまいりました。そう考えると、ソフトレガシーとハードレガシーがあると思います。

ソフトレガシーについては、「大阪・関西万博宣言」というものを参加国の皆さんと共に作り上げていくこと。これは、世界各国の皆さんがまさにこの万博で、リングの中で一つの価値観のもとで行動してきた結果を、しっかりと宣言としてとりまとめることで、未来の行動基準に繋がっていくものと考えております。

そして、ハードレガシーについてですけれども、なんといっても万博会場のシンボルとなっている大屋根リング。ここについて、大阪府市としてリングの一部をハードレガシーとして、原型に近い形で残置をしたいというふうに考えております。その財源についてですけれども、万博運営の剰余金をもし黒字になるのであれば活用していきたいと考えておりますので、政府の皆さんのご支援・ご協力をお願いしたいと思います。私からは以上です。本当にありがとうございます。

○伊東国際博覧会担当大臣 ありがとうございます。続いて、大阪市の横山市長、お願いいたします。

○横山大阪市長 石破総理はじめ政府関係者の皆様、経済界の皆様におかれても、万博の成功に向け多大なご尽力を賜っておりまして、誠にありがとうございます。またこのような場を設けていただきまして、重ねて御礼を申し上げます。

万博の閉幕まで残すところ1か月を切った中で、すでに一段と多くの方に万博会場にお越しいただいておりますが、最も重要なのは安全で円滑な来場者輸送かと思っております。いよいよ正念場を迎えることとなります。

会期終盤に向けまして、更なるTDMの働きかけに取り組むとともに、大動脈である大阪メトロとより緊密に連携しまして、会場周辺の道路管理者として、道路や鉄道の円滑化に万全を期すこととしております。

万博の成功に向けまして、総力を挙げて取り組んでまいりますので、引き続きよろしく願い申し上げます。

知事からもございましたが、大屋根リングにつきまして、この間協議を続けてきておりますが、皆さまのお力添えをいただけるのであれば、一部を市が管理する公園緑地として残していくことを考えております。国家プロジェクトでもある万博のレガシーとして、ぜひ会場運営費の剰余金の活用であったり国・経済界のご支援など、特段の配慮をよろしく願い申し上げます。

いよいよ閉幕まで1か月を切りましたので、全力で取り組んでまいります。本日はありがとうございます。

○伊東国際博覧会担当大臣 ありがとうございます。続いて、博覧会協会会長でもあります日本経済団体連合会の十倉名誉会長、お願いいたします。

○十倉日本経済団体連合会名誉会長・2025年日本国際博覧会協会会長（代表理事） ありがとうございます。本日は、石破総理のリーダーシップの下、関係閣僚、

大阪府知事・市長、経済界が一堂に会する、このような会合を開催いただきましたこと、誠にありがとうございます。

そして、ここまで、本当に多くのお客様にご来場いただいていることに、心より御礼申し上げます。また、ご来場いただいた各国の要人・関係者の方々、更には、現地スタッフの方々にも、重ねて御礼申し上げます。

万博閉幕までいよいよ1か月を切りました。ここで気を緩めることなく、協会といたしましては、引き続き、細心の注意を払って運営に取り組んでまいりたいと思います。また、経団連といたしましても、万博の成功に、尽力してまいります。

関係者の皆様方におかれましても、変わらぬご支援・ご協力を何とぞよろしくお願い申し上げます。

私からは以上になります。

○伊東国際博覧会担当大臣 ありがとうございます。続いて、関西経済連合会の松本会長、お願いいたします。

○松本関西経済連合会会長 関西経済連合会の松本でございます。

まず、石破総理大臣におかれましては、ご就任以来、自ら先頭に立って万博の機運を高めていただき、開幕時の好スタートにつなげていただいたとともに、万博の円滑な運営に向け、政府を挙げてご尽力をいただきましたことに、心より感謝を申し上げる次第であります。

残り1か月の会期も、無事に閉幕を迎えることができるよう、全力を尽くしてまいります。

また、閉幕後の万博のレガシーとしては、リングの残置など、万博の記憶を後世に伝える仕掛けや、新しい技術の社会実装・広域観光の促進といったテーマが考えられます。

地元経済界として、しっかりと取り組んでまいりますので、政府の皆さまの引き続きのご支援をお願い申し上げます。

○伊東国際博覧会担当大臣 ありがとうございます。続いて、博覧会協会の石毛事務総長、お願いいたします。

○石毛2025年日本国際博覧会協会事務総長（代表理事） 本日、総理主催の下、関係閣僚、大阪府知事・市長、経済界が一堂に会し、このような会合を開催いただいたことを、大変心強く思っております。総理のリーダーシップに、心より感謝を申し上げます。総理には4度会場に来ていただきました。大変ありがとうございます。

閉幕まで残り1か月を切ったわけですが、会期終盤に向けて来場者がどんどん増加してきております。加えて9月ですから、台風の襲来も懸念されるという状況にあります。会場ではですね、スタッフ・職員とも現場は相当疲れているかなという感じも正直あります。あと27日ですが、博覧会協会といたしましては、来場者の方々に安全かつ快適に万博を楽しんでいただけるよう、残り期間、公式参加者、地元自治体や交通機関ともしっかりと連携して気を引き締めて取り組んでまいりたいと思っております。

皆様方の引き続きのご協力とご支援をお願い申し上げます。

○伊東国際博覧会担当大臣 石毛事務総長、大変ご苦勞様でございます。それでは、最後に、石破総理から締め括りの御発言をいただきます。

○石破内閣総理大臣 本日は関西からもおいでいただきました。誠に御多忙のところありがとうございます。どうぞよろしくお願いいたします。

私どもの内閣では、国際博覧会条約に基づく『招請国政府』として、大阪府及び大阪市、経済界、博覧会協会とともに、政府を挙げて、大阪・関西万博の開催に全力で取り組んでまいりました。

4月に開会式を迎え、5か月が経過する中、『いのち輝く未来社会のデザイン』をテーマに、様々な展示、イベントが開催されました。茂木統括調整官からお話がありまして、これまで2,000万人を超える方々に御来場いただきました。懸念されておりましたチケット販売も累計で2,100万枚を超えました。決して油断はできませんが、黒字化も見通せるようになりました。

ヘルスケアを始めとする多様な分野でのスタートアップを含めたビジネスマッチングなど、ビジネスの交流も促進されているほか、ご来場いただきました皆様方が日本各地を訪ねていただき、地方創生にもつながっております。

万博の機会を捉え、50人以上の海外の首脳の皆様方が来日されました、私自身、40回以上の首脳会談を実施させていただくなど、貴重な外交の機会にもなったところでございます。こうした万博の成果と経験を共有し、後世に伝え、決して一過性のものにしないことは、万博を開催した私たちの責務であります。

このため、武藤経産大臣、伊東国際博覧会担当大臣の下に、有識者・関係者の皆様方に御参加いただく検討の枠組みを設け、多様なステークホルダーの意見を集約しつつ、大阪・関西万博の成果の検証とレガシーの継承の具体化について、透明性を持って検討を進めることといたします。

大屋根リングなどのハードなレガシーに加え、万博を契機としたイノベーションの萌芽が社会実装されるようなソフトなレガシーも重要であります。多くの方々にご理解いただけますよう、検討を深めていただきたいと存じます。

閉幕まで、あと27日となりました。8月13日には地下鉄の運転見合わせにより皆様方に御迷惑をお掛けすることもありましたが、その反省もいかして、残りの会期、来場者の皆様方に、安全に楽しんでいただけますよう、今一度気を引き締めて運営に当たっていく必要がございます。

成功裏に閉会式の日を迎えられますよう、関係者一丸となって取り組んでいくことが最も重要でございます。あと27日です。どうぞよろしくお願い申し上げます。ありがとうございました。

○伊東国際博覧会担当大臣 総理、ありがとうございました。このメンバーでまた閉幕式を迎えられるよう、引き続き進めていっていただきたいと思います。

本日はありがとうございました。